

資本コストや株価を意識した経営の実現

2026年6月10日



東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

資本コストや株価を意識した経営の実現

当社グループは、連結売上高拡大とともに、製品開発・製造能力強化への投資、製品ポートフォリオマネジメント強化、売上原価低減・販管費効率化等により収益性を向上し、株主資本コストや株価を意識した経営を実現します。

1. 現状分析

長期 VISION「RT500」(2025年3月期から2033年3月期)の1st Stageの2年目の2026年3月期は、連結売上高 239 億円、営業利益率 2.4%、ROE1.1%、ROIC1.3%となりました。営業利益は、前期 15.5 億円から当期 5.7 億円となり、前年同期比△9.8 億円の減益となりました。主な要因は、①日米売上高減少等により粗利が△12.0 億円減少、②製品供給対応に伴う労務費や製造間接費の増加、調達コスト上昇等により製造原価が悪化し粗利をさらに△2.6 億円押し下げたこと。一方で、販管費は人件費増などがあったものの、費用抑制の取り組みにより前期比+4.3 億円の改善(減少)となり、減益影響を一部相殺しましたが、粗利減少と製造原価悪化の影響を吸収しきれず、営業利益は前年同期を下回りました。その結果、株価は PBR1 倍割れの状態となっています。

2. 改善に向けた具体的な取組み

<長期 VISION「RT500」1st Stage ローリングプラン 2029 で目標とする指標>

	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期
	実績	予想	目標	目標
売上高(百万円)	23,917	25,370	27,500	30,000
営業利益(百万円)	574	430	1,000	1,500
営業利益率(%)	2.4	1.7	3.6	5.0
当期純利益(百万円)*	*263	*60	*500	*1,000
ROE(%)	1.1	0.2	2.0	3.9
ROIC(%)	1.3	1.0	2.2	3.3
配当性向(%)	157.4	安定配当 30.0 以上	安定配当 30.0 以上	安定配当 30.0 以上
期中平均換算レート (円/USドル)	150.9	155.0	155.0	155.0

* 親会社株主に帰属する当期純利益

PBR1 倍割れの改善策として、長期 VISION「RT500」の1st Stage ローリングプラン 2029 の最終年度に連結売上高 300 億円、営業利益率 5.0%、ROE3.9%、ROIC3.3%を目標として連結売上高の拡大、及び収益性の向上を図ります。最終年度の目標を達成するために、サプライチェーン問題の早期解決に取り組むとともに、新製品導入による米国売上高の2桁成長復帰を目指します。同時に SAICO プロジェクトの施策を進捗させることで売上原価の低減、販管費効率化等により収益性の向上を図ります。また、製品ポートフォリオを定期的に見直すこと等により、株主資本コストや株価を意識した経営を実現します。

なお、株主還元策は、安定配当を基本とし、配当性向 30%以上を目指すこととしています。